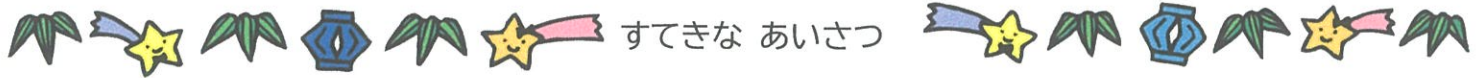


地域・保護者の皆さまに支えていただき 開園60周年

幼稚園だより 7月号

2024年 6月28日
港区立芝浦幼稚園
園長 青山 伸子



早いもので、あと3週間で1学期末を迎えます。連日の暑さの中、子どもたちは水遊びやプール遊びで水に触れる心地よさを味わっています。引き続き安全に十分留意しながら、夏ならではの遊びや活動を楽しめるようにしていきたいと思えます。

さて、先日行われた、芝浦小学校と合同の学校運営協議会で、友達や身近な人、地域との関わり的重要性、子どもたちのあいさつが話題の一つに上りました。

日頃の園でのことを振り返ると、教職員や友達に自分から「おはようございます」「さようなら」とあいさつする子どもたちや、園外保育で出会った方や来園した方・地域の乳幼児さんなどに「こんにちは！」「よろしくお願いします」などと声をかける子どもたちがとても多く見られています。大変うれしく心が温くなる子どもたちの様子であり、園で安心して過ごし身の回りの人への親しみを感しているからこそその姿です。まだ少し、あいさつをすることが恥ずかしい様子の子も、教職員からのあいさつに笑顔やタッチでこたえています。

また、「あいさつをする人の顔を見てあいさつをするといいね」「お辞儀もするとかっこいいよ」「すてきな姿勢であいさつをしようね」などと保護者の方や教職員、なぎなたの講師の先生方からの話をよくおぼえていて、実践している姿も見られています。教職員と子どもたち、保護者の方同士、保護者の方と教職員、出会った親子同士・・・と、登降園時や保育中、園内にはあちらこちらで明るいあいさつの声が響いています。

コミュニケーションの基本であるあいさつをする習慣を子どもたちが身に付けていくためには、園と家庭、地域で身近な大人がモデルを示したり、子どもたちのあいさつする姿をとらえ十分に認めたりすることが重要です。あいさつが必要な場面、望ましいあいさつの仕方、言葉を具体的に知らせるとともに、あいさつをされた時の喜びを味わいながら自分からも相手に向けて気持ちをこめたあいさつをすることも園生活の中で積み重ねていきたいと思えます。

地域やご家庭と連携して、子どもたちがすてきなあいさつをするを継続し、健やかに成長していけるようにしていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願いいたします。



栽培物が生長し、収穫の時期を迎えています。6月からの水に触れる遊びや、なぎなたの活動を7月も予定しています。

〒108-0023 港区芝浦 4-8-18

Tel.03(3452)0574

教育活動の様子など、ぜひ園のホームページや公式Xをご覧ください。



芝浦幼稚園ホームページ



芝浦幼稚園 X